

## 2019年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年2月28日

上場会社名 東和フードサービス株式会社  
 コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸野 誠人  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部部長 (氏名) 長谷川 研二

TEL 03-5843-7666

四半期報告書提出予定日 2019年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年4月期第3四半期の業績(2018年5月1日～2019年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第3四半期	8,444	1.7	368	27.5	386	26.6	216	36.2
2018年4月期第3四半期	8,305	2.8	508	22.4	526	23.1	339	38.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	26.80	
2018年4月期第3四半期	42.01	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第3四半期	6,760	5,208	77.0
2018年4月期	7,106	5,089	71.6

(参考)自己資本 2019年4月期第3四半期 5,208百万円 2018年4月期 5,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期		9.50		6.00	
2019年4月期		6.00			
2019年4月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2017年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年4月期合計に関しましては、第2四半期期末配当と株式分割後の期末配当であるため単純合計できませんので記載しておりません。

### 3. 2019年4月期の業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	3.8	734	10.5	750	8.5	445	5.1	55.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年4月期3Q	8,186,400 株	2018年4月期	8,186,400 株
期末自己株式数	2019年4月期3Q	116,658 株	2018年4月期	116,658 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年4月期3Q	8,069,742 株	2018年4月期3Q	8,069,776 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(修正再表示)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期(2018年11月1日～2019年1月31日)における外食業界は、人手不足に伴う人件費の高騰と原材料価格及び物流費の増加等により、厳しい経営環境が続いております。

当社における第3四半期累計期間の業績は、売上高84億44百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は3億68百万円(同27.5%減)、経常利益は3億86百万円(同26.6%減)、当期純利益は2億16百万円(同36.2%減)となりました。売上につきましては、第3四半期の既存店売上が前期比101.5%と今期スタート時から回復傾向にあります。(対前期比第1四半期98.9%、第2四半期100.9%)特に女性のお客様とお酒のあるシーンでは、新たに投入したラクレットチーズを活用したメニューとステーキメニュー(牛肉・羊肉)の展開により、客数回復に繋がっております。

また、社内コンテストからトレンドの中に上質さを加え誕生した「椿屋プレミアムブレンド」を開発し、椿屋珈琲全店へ導入した事も、客単価を押し上げる要因となりました。コスト面では前期に創店した店舗の減価償却費75,092千円が大きく影響しているほか、給与のベースアップ等に伴う人件費増、物流費の上昇の影響を受けております。また、3月末日でショッピングセンターの撤退に伴い閉店が決まった横須賀ショッパーズプラザ内にあるダッキーダック、ぱすたかんの退店及び不採算店の減損損失も計上いたしました。店舗での事務作業軽減に伴うペーパーレス化や物流コストの見直し等、合理化・効率化を進める上で重要な会議体の変更も行い、業務推進のスピードアップにも取り組んでおります。引き続きコストを吸収するための知恵を出して、業績回復に繋がられるよう努めてまいります。

昨年12月に発足したインターネット販売におきましては、椿屋ブランドを全国の方々に知って頂くための新商品開発を行いました。椿屋珈琲の看板メニューである「椿屋特製ビーフカレー」「金のチーズケーキ」「プラチナレアチーズケーキ」を楽天市場椿屋珈琲店の新たなラインアップに追加し、今後の売上の拡大を目指してまいります。



設備投資につきましては、完全無添加のスパゲッティ生麺を製造している戸塚カミサリーにおきまして、インターネット販売用の新商品「椿屋特製ビーフカレー」及びイタリアンダイニングDONAグループの好調をうけて、製造設備の増設を行う計画であります。

新規創店におきましては、11月にはイタリアンダイニングDONA三ツ境ライフ店、椿屋カフェ武蔵小杉店を、12月には椿屋カフェみなとみらい店をオープンしてファンづくりに努めているほか、第4四半期に入っては2月7日に椿屋カフェ京急百貨店上大岡店を創店しております。今期最後の4月には現在改装休業中のダッキーダックカフェアトレ松戸店を新業態でオープンできるよう店舗設計、デザイン、メニュー構成等の刷新を行っております。

ここまでなかなか奮わない業績となっておりますが、締めくくりの第4四半期ですので「入るを量りて出ざるを制す」という諺にもある通り、コスト面の改善を一番に業務効率化を進めていき、業績向上に努めて参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて3億61百万円減少し、16億24百万円となりました。これは、現金及び預金が2億28百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、51億36百万円となりました。これは、建物が61百万円、工具、器具及び備品が40百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて3億45百万円減少し、67億60百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2億87百万円減少し、10億14百万円となりました。これは、未払金が1億2百万円、未払賞与が1億13百万円、未払法人税等が1億14百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1億77百万円減少し、5億37百万円となりました。これは長期借入金が1億50百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億64百万円減少し、15億52百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億19百万円増加し、52億8百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月31日に公表いたしました、2019年4月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,268,904	1,039,966
売掛金	115,524	111,644
SC預け金	297,823	239,191
商品及び製品	38,071	35,043
原材料及び貯蔵品	81,442	84,507
前払費用	125,088	111,572
その他	59,541	3,170
貸倒引当金	△482	△367
流動資産合計	1,985,915	1,624,728
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,198,738	1,260,330
工具、器具及び備品（純額）	390,577	430,724
土地	939,000	939,000
リース資産（純額）	115,656	70,701
その他（純額）	137,726	140,260
有形固定資産合計	2,781,699	2,841,018
無形固定資産	24,183	28,483
投資その他の資産		
長期前払費用	21,372	22,506
繰延税金資産	241,886	241,786
差入保証金	420,007	412,465
敷金	1,588,793	1,547,435
その他	42,307	42,438
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	2,314,364	2,266,629
固定資産合計	5,120,247	5,136,131
資産合計	7,106,162	6,760,860

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	254,503	190,135
1年内返済予定の長期借入金	21,410	150,000
リース債務	69,294	51,908
未払金	470,080	367,089
未払賞与	113,702	-
未払費用	129,328	82,775
未払法人税等	152,032	37,684
未払消費税等	62,161	66,700
預り金	27,781	6,982
賞与引当金	-	55,816
資産除去債務	-	3,528
その他	2,045	2,096
流動負債合計	1,302,339	1,014,717
固定負債		
長期借入金	150,000	-
リース債務	61,388	27,047
退職給付引当金	308,223	325,381
資産除去債務	174,039	163,941
その他	20,984	20,984
固定負債合計	714,636	537,355
負債合計	2,016,975	1,552,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	3,819,852	3,939,263
自己株式	△100,429	△100,429
株主資本合計	5,075,772	5,195,184
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,414	13,602
評価・換算差額等合計	13,414	13,602
純資産合計	5,089,187	5,208,787
負債純資産合計	7,106,162	6,760,860

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年5月1日 至2018年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)
売上高	8,305,783	8,444,765
売上原価	2,220,215	2,273,275
売上総利益	6,085,567	6,171,490
販売費及び一般管理費	5,576,840	5,802,756
営業利益	508,727	368,733
営業外収益		
受取利息	89	77
受取配当金	599	592
受取家賃	19,467	19,000
その他	3,284	3,499
営業外収益合計	23,441	23,168
営業外費用		
支払利息	3,412	2,618
不動産賃貸原価	1,272	1,782
その他	1,029	1,257
営業外費用合計	5,713	5,658
経常利益	526,455	386,244
特別利益		
固定資産売却益	63,421	-
その他	770	-
特別利益合計	64,192	-
特別損失		
固定資産除却損	58,966	7,054
減損損失	12,184	46,955
特別損失合計	71,150	54,010
税引前四半期純利益	519,497	332,234
法人税等	180,474	115,985
四半期純利益	339,022	216,248

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。